



上田会長がABU次期副会長に選出

アジア・太平洋地域の放送機関などが加盟するABU＝アジア太平洋放送連合の年次総会が、きょうまでの2日間の日程で中国・四川省の成都で開かれ、NHKの上田良一会長が、ABUの次期副会長に選ばれました。任期は来年1月から3年間です。



<上田会長のコメント>

「放送業界はデジタル化やインターネットの普及により経営環境が激変し、前例のない変化に直面している。ABUのほかのメンバーと連携しながら、アジア太平洋地域の放送業界の発展に貢献すべく、最大限努力していきたい」

今年の総会は、「不確実な時代におけるメディア」をテーマに、ソーシャルメディアなど新しいメディアの影響力が強まる中、今後、放送がどのような役割を果たすべきかや、放送と通信の融合時代における放送局の経営改革や課題など、幅広いテーマについて意見が交わされました。

<参考>

◆ABUの新体制◆(2018年1月～)

- 会 長:コ・デヨン(韓国・KBS社長)(継続)
- 副 会 長:上田良一 (NHK会長)(新任)
- スプリヤ・サファー(インド・DDI会長)(継続)
- 孫玉勝(中国・CCTV副台長)(新任)
- 本 部:マレーシア・クアラルンプール

◆ABUとは◆

Asia-Pacific Broadcasting Union＝アジア太平洋放送連合。1964年に設立され、72の国と地域から270あまりの放送機関等が加盟。「ABUロボコン」の開催や国際共同制作のほか、ニュース素材交換や技術協力などを行っている。